

志ある者は事ついに成る!

今から2千年ほど前の中国に劉秀という人物がいました。彼は新という王朝を滅ぼし、都を洛陽に置き、漢の王朝の再興として後漢王朝を建てました。劉秀は、後に光武帝と呼ばれ、後漢王朝の初代皇帝となります。「後漢書」に、光武帝の次のような言葉が残されております。「有志竟成」(ゆうしきょうせい)或いは「志ある者は事ついに成る」とも言われ、固い意志をもって、自分自身の目標に向かって進む人は、どんな困難にあっても最後には事を成し遂げることができるという意味です。一見すると困難のようにみえても、固い信念を以て事に当たれば遂には実現されるということです。

さて、高校時代は、自分のやりたいことや将来の職業について、具体的に、自らの未来の予想図を描き、未来を設計する時期です。夢は、諸君に勇気を与え、くじけそうになる人を励ましてくれます。諸君は、一人一人個性が豊かで、将来の無限の可能性を秘めております。生徒諸君は「ダイヤモンドの原石」です。まだまだ、十分輝いてはおりません。しかし、今後、磨き続けると美しい光沢を出し、すばらしい宝石に変身します。私は、夢や志を抱き、それを実現するため、最大限の努力を重ねて、自分の将来を切り拓いて欲しいと願っています。そのために、大学等の入試が関門であるならば、部活動を言い訳にせず、逃げず諦めず、正々堂々と正面から突破して欲しいと思います。自分の適性を考えながら、夢や志をどのようにして実現するのか、それが進路を考えるということです。目指す進路目標の実現は、ただ願うだけの他力本願では叶うものではありません。目標を達成するためには、絶対諦めない精神力、忍耐力、そして、何よりも体力が必要です。高校3年間は長いようで短いです。生徒の皆さんには、光武帝の「有志竟成」を心に刻み、一日一日を大切に、悔いのない高校生活を送って欲しいと切望しております。

進路指導部では、みなさんの進路実現に有益な情報を数多く発信します。みなさんの希望進路は千差万別ですが、この「進路の手引き」には、一人一人の進路決定に際して必要な情報(進学や就職に関するガイダンス、国公立大学・私立大学等に関する資料、奨学金、合格体験記等)が満載です。是非、自分の進路実現のために、進路指導室も大いに利用すると共に、「進路の手引き」を最大限に活用して下さい。

結びに、「文武両道(学業、部活動、生徒会活動及び学校行事に懸命に取り組むこと)」の精神で充実した高校生活を送ることが人間としての成長につながり、自分自身の目標を達成することになるのです。

令和3年4月1日

沖縄県立コザ高等学校

校長 宮城 薫